

## TOPPAN FORMS

トッパン・フォームズ株式会社

- 資本金：117億5,000万円
- 設立：1955年5月
- 従業員数：単体1,910名、連結10,661名  
(2018年3月末現在)
- 本社所在地：〒105-8311  
東京都港区東新橋1-7-3
- 事業内容：BF(ビジネスフォーム)、DPS(データ・プリント・サービス)、BPO(ビジネスプロセスアウトソーシング)、デジタルソリューション、システム運用管理サービス、カード・ICタグ関連業務、電子決済サービス、サプライ品、機器類の販売・保守ほか
- URL：<https://www.toppan-f.co.jp/>

のデジタル技術を掛け合わせることで、当社ならではの価値を提供する「デジタルハイブリッド」の取り組みに注力しており、特に市場ニーズの高いデジタ



クラウド型決済プラットフォーム「Thincacloud/シンカクラウド」を中核とした「ペイメントサービス」を提供



「スマートファクトリーJapan 2018」で当社最新の高機能RFID製品などを紹介



スマートフォンを活用した証明書類の送付ソリューション

当社は1965年にBF(ビジネスフォーム)の専門会社として創立、コンピュータリゼーションの進展とともに業界のリーダーグカンパニーとして成長してきた。その後DPS(データ・プリント・サービス)、BPO(ビジネスプロセスアウトソーシング)へと領域を拡大し、印刷で培った技術を活かしながら「インフォメーションマネジメント企業」として、新たな価値の創造に取り組んできた。現在は、従来型のソリューションと最先端

のデジタル技術を掛け合わせることで、当社ならではの価値を提供する「デジタルハイブリッド」の取り組みに注力しており、特に市場ニーズの高いデジタ

業基盤の拡大を進める。

今後、当社はデジタルハイブリッドの取り組みをさらに加速させ、他に類のない独自性の高い企業として、市場での立ち位置を築いていく。さらなる成長を支える基盤づくりのため、健康経営やダイバーシティ経営の推進そして働き方改革へ積極的に取り組み、今後とも社業を通じて広く社会に貢献する存在感のある会社を目指す。

ル商材のラインアップ強化・拡販や高付加価値BPOなど、成長領域への資源投入を強化する。また、これまで取り組んできたクラウド型決済プラットフォームの本格稼働開始、RFID(無線通信による個人認識)と新通信技術との組み合わせによる新たな領域への進出など、市場へのビジネス展開を加速する。海外においては、経済成長が続くASEANを中心としたポーターレスな事業

## MESSAGE

デジタルハイブリッド新時代  
——新たな企業価値の創造

社長  
坂田甲一  
さかた こういち



トッパンフォームズが掲げる経営信条「三益一如」では、私たちは自らを「事務革新のパイオニア」として社会に貢献していく存在であると定義しています。創業の原点ともいえるべきこの考え方のもと、私たちは「情報を確実かつ安全に伝える」技術やソリューションを強みに、紙と電子のハイブリッド企業へと変貌を遂げてまいりました。

経団連の活動を通じて、新たな企業価値の創造に注力し、今まで以上に社会とお客様にとって欠くことのできないパートナーとしての地位を揺るぎないものとしていくため、一層邁進いたします。皆様の温かいご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。